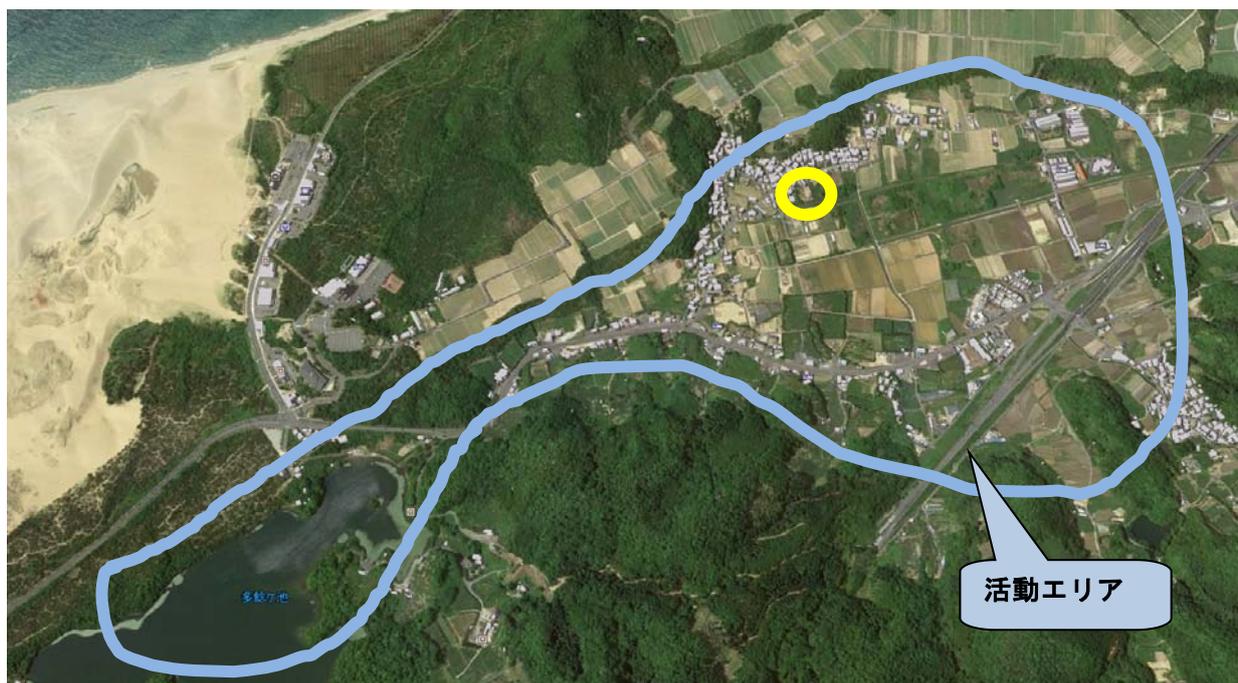


活動内容：江戸時代後期～昭和初期の農業体験・福部未来学園生徒への教育活動

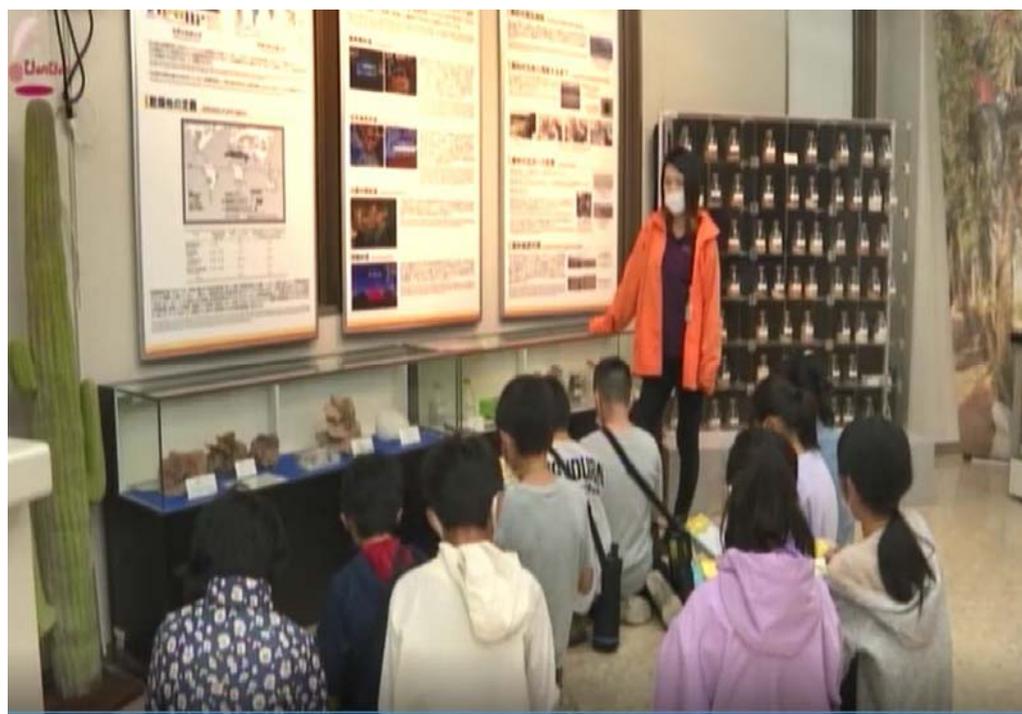
農林水産省「多面的事業活動記録」 2021年10月



活動の場所	湯山地域に現在も残る江戸時代後期歴史遺産とも言える「川戸」
活動の内容	福部未来学園5年生児童を対象に「川戸で足踏み水車体験」「千歯こき体験」「唐箕体験」

活動写真

鳥取大学砂丘
乾燥地研
で砂丘の勉強



川戸で足踏み
水車
体験



川戸近くの水
田で
千歯こき体験



川戸近くの水
田で
唐箕体験



いなばびよん
びよんネット
テレビ放映





(19) 広 域 2021年(令和3年)11月10日 水曜日

「昔は大変だったんだな」

福部未来
学園児童 千歯こきなどで脱穀体験

鳥取市福部町の地形の変遷、千拓地の農業を支えた選り農業の歴史を学ぶ授業が、同町内であった。福部未来学園の5年生20人が江戸中期から昭和初期に使われた農機具で脱穀作業を体験。さまざまな道具を使い、歴史読本を活用し、地域の産業や歴史を調べてまとめる探究学習の一環。江戸中期に発明された千歯こきは、町内の農家に残っていたものを同委員会が借り受けた。児童がくし状の鉄の歯に稲穂を挟んで勢いよく引き抜くと、もみだけがパラパラと落下。また「唐箕」と呼ばれる農具を使い、脱穀したもみに付いた稲の葉やわらを風を起こして吹き飛ばす選別作業にも挑戦した。

中村光牙君(10)は「千歯こきは引き抜くの力が必要で、昔の人は大変だったと思う」と苦笑い。飼牛代表(73)は「体験を通して福部の歴史や産業を知り、自分の言葉で語れるようになってほしい」と話した。

(野木 純)

ふるさとワイド

千歯こきを使った脱穀作業に挑戦する児童

鳥取市福部町の地形の変遷、千拓地の農業を支えた選り農業の歴史を学ぶ授業が、同町内であった。福部未来学園の5年生20人が江戸中期から昭和初期に使われた農機具で脱穀作業を体験。さまざまな道具を使い、歴史読本を活用し、地域の産業や歴史を調べてまとめる探究学習の一環。江戸中期に発明された千歯こきは、町内の農家に残っていたものを同委員会が借り受けた。児童がくし状の鉄の歯に稲穂を挟んで勢いよく引き抜くと、もみだけがパラパラと落下。また「唐箕」と呼ばれる農具を使い、脱穀したもみに付いた稲の葉やわらを風を起こして吹き飛ばす選別作業にも挑戦した。